

# 第26回 議会報告会

## 『市民と議会のつどい』

◎ 日時 令和元年10月4日(金)

午後7時00分～午後8時30分

◎ 場所 雁宿ホール 2階 視聴覚室

19:00～ 議会報告会 開会

議長開会挨拶

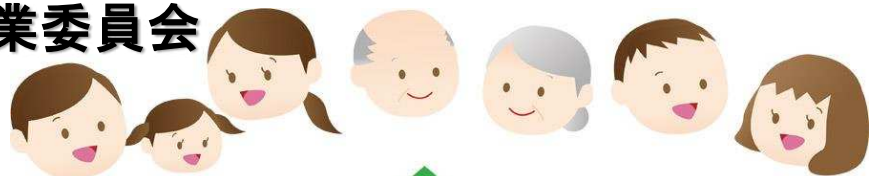
19:05～ 各常任委員会報告

・総務委員会

・文教厚生委員会

・建設産業委員会

・その他



19:40～ 休憩

19:55～ 意見交換会

～20:30 議会報告会 閉会

副議長お礼挨拶



令和元年  
9月定例会

# 総務委員会

主な所管

総務・企画  
財政・防災  
市立半田病院



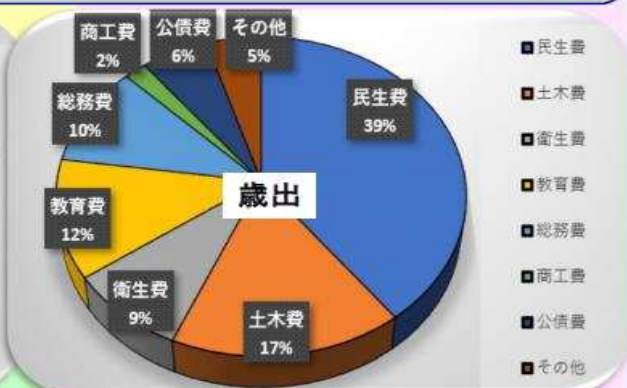
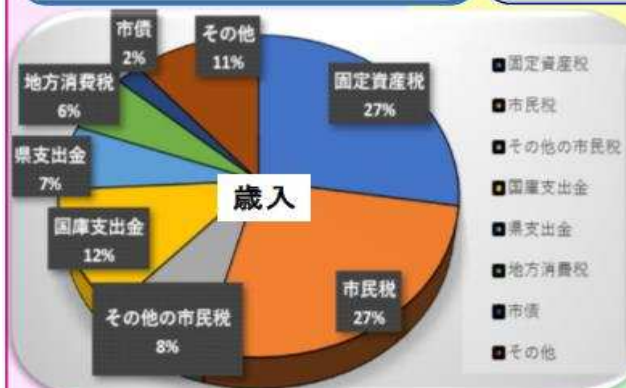
P1

平成30年度 一般会計決算審査(一般会計)

総務委員会①

## ◇歳入歳出 (一般会計)

平成30年度当初予算/363億4,000万円  
平成30年度決算歳入/381億 405万円  
歳出/362億8,278万円



Q. 一般会計の決算の結果はどのような状況でしたか。

A. 歳入総額は381億405万円で、前年度比 7億7,703万円 2.1%の増、歳出総額は362億8,278万円で、前年度比 598万円 0.1%の増でした。

P2

## ◇シティプロモーション推進事業

決算額/330万4千円

## 事業内容

次の2本柱を目的として、半田市の魅力を発信しています。

- ①半田市への定住者の増加を図るため、市外の方に半田市の良さを知ってもらう。
- ②シビックプライドを醸成するために、市民に半田市の良さを再発見してもらう。

※シビックプライド:半田市民が半田市を誇りに思うこと。



## 質疑

(一部抜粋)

**Q.** どのように事業展開し、得られた成果は何がありましたか。

**A.** ふるさと応援団会議やYouTubeでの動画放映、市報を見やすくしたなど、さまざまなツールで、まちの良さを知り、また、再認識していただけるよう取り組みました。放映後は、反響があり、手応えを感じています。

P3

メモ

## ◇特殊詐欺対策について



## 質疑

(一部抜粋)

オレオレ詐欺、還付金、融資保証、架空請求

**Q.** 半田市内の特殊詐欺の発生件数はどのようなようですか。

**A.** 半田警察署によれば、平成28年は39件、平成29年は21件、平成30年は18件発生しており、被害の撲滅に至っていない状況です。

## 対応策

**Q.** 「振り込め詐欺等被害防止に関する条例」に基づいて、30年度はどのような取り組みをされましたか。

**A.** 敬老会などの地域行事等の高齢者が集う機会に、警察との連携による「特殊詐欺防犯教室」を実施しました。(15回668人)

P4

メモ

令和元年  
9月定例会

# 文教厚生委員会

主な所管

福祉・教育  
健康・子育て支援



P5

平成30年度 一般会計決算審査(地域福祉課) 文教厚生委員会①

## ◇ 亀崎地域総合福祉センター運営事業

決算額/1,211万2千円

**事業内容** 地域における高齢者、心身障がい者、母子(父子)家庭、寡婦などの方の福祉向上のために設置された亀崎地域総合福祉センターの管理運営を亀崎地区コミュニティー推進連絡協議会に委託しています。

### 質疑

**Q.** 利用者数が3年で2万人以上減っていますが、どのように考えていますか。

**A.** 提供するサービス内容に変化があったことが反省点です。今後は施設の使い方について、利用者の声を聞き方向性を検討し、委託内容を変更してまいります。

P6

## ◇児童センター管理運営事業

決算額/4,887万1千円

**事業内容** 児童の健全な遊び場の確保、健康増進、情操を高めることを目的とし、中学校区毎に1カ所と有脇・板山地区の合計7カ所に、児童センターを開設し運営しています。

### 質疑

**Q.** 既存児童センターの老朽化に伴い、他施設との複合化に関する話し合いはありましたか。

**A.** 施設の複合化の必要性については認識しており、本年度策定する「子ども子育て支援事業計画」の中で議論してまいります。



P7

メモ

## ◇いじめ不登校対策事業

決算額/2,322万6千円

**事業内容** いじめ不登校問題は、当事者が一人で問題を抱え込まないよう、教職員は、日頃からささいな兆候を見逃さないように努め、問題を一人で抱え込んでしまわないよう、学校全体で組織的に指導に当たる方針で対応しています。

### 質疑

**Q.** 相談体制を整えたことで、相談件数が増えたと報告がありますが、不登校児童生徒数も増えています。どのように考えていますか。

**A.** 相談事業は、相談を受けるだけでなく、こちらからアプローチするようになったことと、一人の相談を複数回行うなど、手厚い支援を行うようになったことで増加したものと考えています。



P8

メモ

令和元年  
9月定例会

# 建設産業委員会

主な所管

建設・環境  
経済・観光・水道



P9

平成30年度 一般会計決算審査(市民課)

建設産業委員会①

◇個人カードを使用した証明書等コンビニ交付事業  
決算額/705万3千円

## 事業内容

個人番号カードを用いて、戸籍証明や住民票などが、市役所閉庁時間帯でも、コンビニで取得が可能となるシステムの維持管理、および利用率向上のPR。



## 質疑

(一部抜粋)

**Q.** 平成30年度の実績は、3.85%と伸び悩んでいますが、目標を10%としています。取得率を向上させるために、どう取り組んだのでしょうか。そして、今後どのように取り組んでいきますでしょうか。

**A.** 写真撮影サービスや週末の特設申請窓口の開設などを行いました。今後は事業所等への出張手続きを実施します。

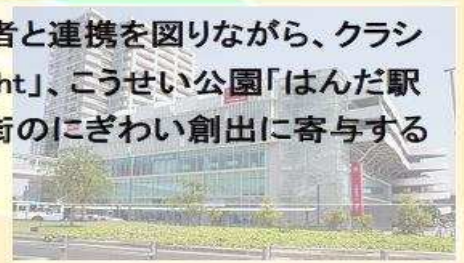
P10

## ◇中心市街地まちづくり支援事業

決算額/755万7千円

## 事業内容

商工会議所や商店街、地域の関係者と連携を図りながら、クラシティの活性化や半田運河「Canal Night」、こうせい公園「はんだ駅前フェスティバル」などの企画をし、街のにぎわい創出に寄与する事業。



## 質疑

(一部抜粋)

**Q.** クラシティが実際、賑わっているとは言えないことの原因に駐車場があると考えます。今後の改善方法として駐車場の在り方について考えるべきではないでしょうか。

**A.** 商工会議所が掲げる半田市市街地活性化ビジョンで、これからの中心市街地を考えた際に、この地域には駐車場が多くあり既存の駐車場のサービスや利便性を図ることで有効活用できるものとまとめられ、報告されています。

P11

メモ

## ◇景観形成推進事業

決算額/1,797万9千円

## 事業内容

景観形成推進のため補助金による助成を、半田運河エリア、岩滑エリア、亀崎エリアで実施し、良好な景観を維持していきます。



## 質疑

(一部抜粋)

**Q.** 景観形成重点地区として指定されている市内3エリアの推進については、住民に良好な景観とは何かが具体的に明確にされていない。30年度の実績を踏まえ、今後どう取り組んでいくのでしょうか。

**A.** 岩滑地区では、景観づくりに対する建築物への補助制度のPR活動を戸別に行い周知を図りました。亀崎地区では、無電柱化に向けて協議会を立ち上げ、景観を含めたまちづくりの方針の検討を行っています。今後も、地域の方の意見を伺い景観への取り組みを進めます。

P12

メモ